

306 中央大学英語会春季大会

〔『法学新報』第22卷5(253)号 明治45年5月1日〕

○中央大学英語会春季大会 中央大学学生より成る英語会は去る三月二日午後六時其春季大会を開催せり定刻会長講師浅田栄次氏立て開会の辞を述べ外国語学校教授メドウレー氏の有益なる講演あり了て会員松熊昌隆氏(法、三)は家族制度と日本婦人の将来と題して演説し江波時雄氏(商、一)は真の雄弁と題して朗読を試み梶尾円平氏(商、三)は吾人の精力主義と題して演説し中沢晋作氏(法、一)は犯罪に就きてと題し朗読を試み熊田敏夫氏(商、三)は“My old Kentucky Home, Good

Night”を独奏し関時次郎(商、一)柴田正(同)金田常三郎(同)の三氏は“a Pracial Joke”の対話を演じ岡崎寿市氏(法、二)は死人の声と題し朗読を試み山岡讓氏(商、三)は日本の将来と題して演説し「ジャパン、タイムス」社の高橋一知氏は学生の為めに有益なる講演を試み川崎亥之吉(商、三)国貞喜一(同)、熊田敏夫(同)、松沢美三男(同)の四氏は“a Good Samaritan”の対話を演じ熊田敏夫氏(商、三)は“Where the Four-leaf Clovers Grow”を独奏し講師粉倉作助氏は科学上より見たる国民生活と題して演説し九時半に至り奥田博士の閉会の辞を以て終了を告げたり吾人は会員諸氏が今回の成効(マ)に満足せず益々奮励一番せられんことを望む